

令和6年度タウンミーティング 大井沢地区

開催日時 令和6年7月15日（月・祝）10:00~11:30

開催場所 もりや学びの里

出席者 市民14名

議事内容および要旨

【開会】

【市長挨拶・説明】

資料「未来へつなぐもりやビジョン」に基づき説明

【主な意見と回答】

（参加者）

キッチンカーのボンベ爆発など、爆発事故のニュースが多く見られる昨今ですが、松ヶ丘五丁目に LP ガス容器置場という場所があります。火気厳禁との表示もあり、住宅地なので心配であるため、確認していただきたいです。

（市長）

早急に調査して報告いたします。

（参加者）

道路脇の草刈りについて、境界まで草を刈っていないため、困っています。市の境界までは、しっかり刈っていただきたいです。

（都市整備部長）

道路に影響があるところまで草刈りしているのが現状です。境界までしっかり草刈りできるように調整したいと思います。

（参加者）

ヤクルト 2 軍を誘致することで渋滞が発生して、その結果、生活道路に車が入ってくる事が予想されます。対策を考えてほしいです。

（市長）

しっかり、対策を講じていきたいと思えます。

（参加者）

現在、市内への企業の誘致は考えていないのでしょうか。

（市長）

企業を誘致して、法人税を増やしていかないと、人口が減っていく中では、市の財政が難しくなるので、新守谷駅周辺に企業を誘致したいと考えています。守谷市の市域は狭いですが、スマートインターができることで、サービスエリア周辺約 60ha を新たな企業の誘致と働く場ができる場所にしていきたいと考えています。

(参加者)

ふるさと納税が増えていることについて、要因はどのようなことでしょうか。今後の見通しはいかがでしょうか。

(市長)

ふるさと納税という国の制度を精一杯活用すべきということで、大手の企業者に PR したり、企業の社内報で返礼品を紹介していただいたりと、営業活動にも力を入れてきました。守谷市には、アサヒビール茨城工場と明治守谷工場の商品がありますので、この二つが非常に人気です。ふるさと納税に力を入れている自治体と、力を入れている自治体の差は出てきています。今年は 80 億円を目指して頑張っていますので、市外の方への声掛けをよろしくお願いいたします。

(参加者)

一つ目は、「もりサポ塾」について、活動スタート時は、市から補助金をいただいたようですが、ランニングコストの支援がないようです。講師のアルバイト代や交通費など、支援をお願いしたいと思います。教育のセーフティネットは将来の納税・税金にも跳ね返ってくるのだと思いますので、困っている人を救うということに重点を置いて考えてほしいと思います。二つ目は、立沢の市街化調整区域について、街の賑わい、利便性を考えて、柔軟な用途の変更と企業誘致を行ってほしいです。

(市長)

「もりサポ塾」のみにかかわらず、ボランティア団体の育成・継続を担保できるようにしなければならないと考えています。行政だけでは、かゆいところに手が届かないということで、各地区にまちづくり協議会を設立いただきました。セーフティネットはもちろん必要だと思いますし、ボランティア団体を継続的に支援する仕組みを作っていこうと思っています。どのように支援するか、多方面からご意見を伺えるとありがたいです。

(都市整備部長)

用途地域の変更など都市計画の決定は、県が決定するものとなっています。守谷市内の用途地域を変更することは、区画整理事業以外のものでは県から認められていません。上下水道も完備されているところでもありますし、要望はしているところです。しかし、市街化区域にすると、税金が上がることもあり、必ずしも望む人ばかりではないの

で、様々な意見を踏まえて検討していきたいと思います。

(参加者)

市が特例でできるという話も聞いたことがあるので、柔軟に検討していただきたいと思います。

(参加者)

滝下橋が混雑しますので、橋の架け替えができれば良いと思います。また、都市軸道路について、利根川を渡る橋ができ、千葉県とつながってほしいと思います。

(市長)

都市軸道路の橋については、県同士でも話がついているところです。あとは技術的な問題などがあり、いつまでにかけるということが決まっていない状況です。守谷市、つくばみらい市、つくば市の3市で、茨城県・千葉県の両知事に毎年陳情に行っております。遠からず、見通しは出てくると思います。

(都市整備部長)

本年度も要望を行うよう調整していますし、進んではおりますので、事業化に向けて進めていきたいと考えています。滝下橋についても、常総市など関係市と連携して、県に要望活動をしていきたいと考えています。

(参加者)

小学生のランドセルはリュックサックなどではいけないのでしょうか。新1年生にふるさと納税などの資金で市から寄贈するのはどうでしょうか。

(教育部長)

守谷市では、ランドセルを必ず使うようになど、強制や指定はしていません。リュックサックで通学しているお子さんもいます。ランドセルが指定ではないことは、学校をとおして、入学前に説明しています。

(参加者)

デジタル技術や AI など、市の業務にもっと取り入れたほうがよいのではないのでしょうか。

(市長)

音声認識など、先端技術は積極的に取り入れていきたいと思っています。しかし、国のシステムがまだまだ遅れていて、住民票など様々な仕組が紙ベースになってしまっています。消防では、マイナンバーカードさえあれば、事故に遭ったときや急病になったときなどの緊急時に、病歴や服薬などを把握できるような仕組も検討されています。もちろん

ん市役所でも、窓口で書類を書く必要がなくなるなど、市民の利便性が高まるようにしていきたいと思います。

(参加者)

守谷市には「危機管理課」などは無いと思うが、災害への意識が高まる中、今後の防災についてお聞かせください。

(市長)

守谷市の場合、水害についてはある程度は予測がつかますが、地震や竜巻などは予測がつかず発生してしまいます。ご指摘のとおり、危機管理課などの部署を作っておく必要があると思います。また、職員の意識を高めることも重要だと感じています。職員の意識そのものを高めていかないと、いざという時の対応は難しいと思います。常日頃から緊急事態に対応できる心構えを持ってほしいと思います。

(参加者)

学校現場をもっと見てほしいと思います。御所ヶ丘中学校の大規模改修により、プレハブができることで野球部が近くの板戸井公園で練習することになりました。野球用具などを子どもたちが毎日学校から運ばなければならず、公園に倉庫を作してほしいと要望しましたが、市からは予算がなく難しいと言われていました。現場を見てないから困っているということがわからないのだと思います。また、インクルーシブ教室について、多くの支援員を配置していただいています。それでも足りなくなる瞬間もあるかと思うので、臨機応変な人員配置をしてほしいと思います。

(教育部長)

倉庫の件は伺っておりますので、調整させていただきました。こちらの都合で子どもたちに負担をかけてしまっており、申し訳ありませんでした。

(参加者)

災害時の引き渡し訓練について、教育委員会は関係ないのでしょうか。私は訓練に毎回立ち会っていますが、今年度は職員が誰も来ておりませんでした。

(教育部長)

校長会で日程や内容を決めており、これまでは訓練当日に無線訓練を行っていましたが、今回は前倒しで無線訓練を行ったため、13校全ての現場にはお伺いできなかったようです。来年については検討していきたいと思います。

(参加者)

職員の負担も大きいと思うので、実施日を学区ごとにずらしていただけないでしょう

か。また、今のような内容の引き渡し訓練では、何の役にも立たないと思います。気が付いた点は、大井沢小学校に伝えましたので、検討してください。

【市長挨拶】

本日はお休みのところ、お集まりいただきありがとうございます。やはり職員が現場を知らないと、行政職員としての仕事はできないと思います。守谷市独自に地域担当職員という制度を運用しておりますので、ぜひ、職員を呼んでいただいて、地域の皆様との信頼関係を構築していきたいと思います。今後もまちづくり並びに市政運営について、ご協力賜りますようお願いいたします。本日は、ありがとうございました。